



<報道関係各位>

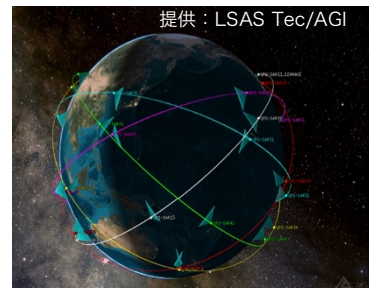
2020年2月26日
株式会社 QPS 研究所

2020年2月26日(水)にQPS研究所とJAXAが
J-SPARC事業コンセプト共創に関する覚書を締結
～36機のQPS小型SAR衛星による
準リアルタイムデータ提供サービス事業を促進します～



株式会社 QPS 研究所（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：大西俊輔、以下、QPS 研究所）と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（本社：東京都調布市、理事長：山川宏、以下、JAXA）は、2020年2月26日（水）に J-SPARC 事業コンセプト共創に関する覚書を締結し、36機のQPS小型SAR（合成開口レーダー）衛星による準リアルタイムデータ提供サービスの事業実現に向けたコンセプトの検討、即ち共創を開始します。

QPS 研究所は、20社の九州の地場企業と一緒に開発・製造した小型SAR衛星1号機「イザナギ」を昨年12月11日（水）にインドの『サティッシュ・ダワン宇宙センター』より同国主力ロケットである『PSLV (Polar Satellite Launch Vehicle)』のC48に搭載し、高度約570kmの軌道へと打ち上げました。現在は初観測データ取得に向けて調整をしております。この打ち上げは、QPS研究所が目指す小型SAR衛星36機のコンステレーションによる準リアルタイム観測に向けての大きな第一歩となりました。打ち上げ成功後の、同年12月にはJAXAの60cm望遠鏡を使用し、「イザナギ」の姿勢・運動状態を確認することを目的とした共同研究契約を締結。「イザナギ」の状態確認や軌道予測等を進めてまいりました。



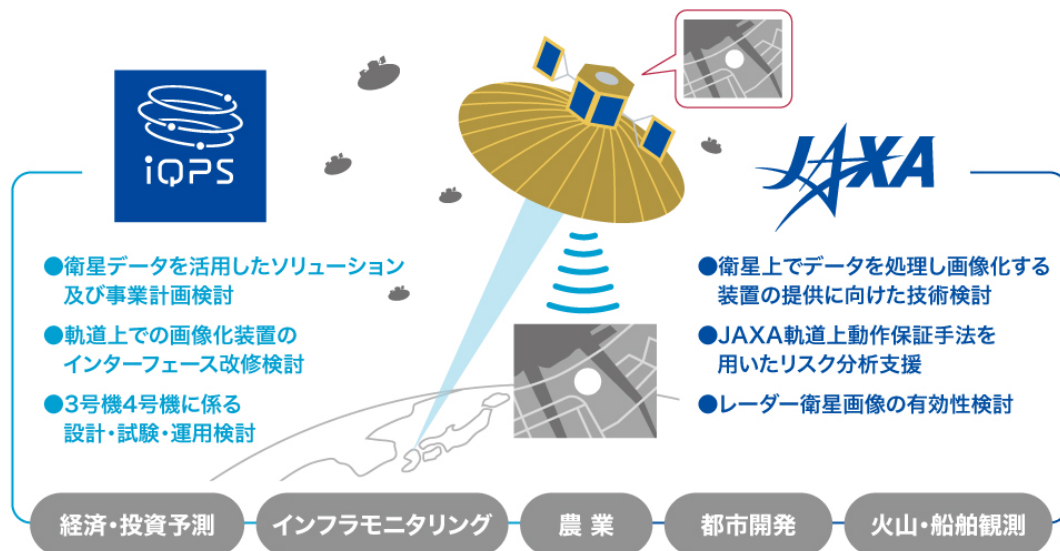
この度、この共同研究の段階を経て、JAXAのさらに強力なサポートのもと、QPS研究所が目指す準リアルタイムデータ提供サービスをより早く、効率良く実現させるために、宇宙関連事業の更なる創出を目指す「JAXA宇宙イノベーションパートナーシップ（J-SPARC：ジェイ・スパーク）」を締結する運びとなりました。これにより、QPS研究所が構築を進めている小型SAR衛星コンステレーション事業において、サービス価値を高めるために重要となる低レイテンシ化、画像圧縮化技術の検討を行い、即応性の高い事業を構想し、準リアルタイムデータ提供サービスの確実な実現化を目指します。



<QPS研究所 代表取締役社長 大西俊輔 コメント>

「2015年の構想から始まったプロジェクトが実現に向けて着々と進み、この共創でさらに促進されることを嬉しく思います。特にユーザーにお届けできるサービスの幅が広がり、使いやすくなることが期待されますので、今後は今まで衛星データを使用されていなかった方々、事業にも宇宙からの可能性を広げて貢献できれば幸いです。」

<J-SPARC の主な内容>



小型レーダー衛星群による準リアルタイムデータ提供サービスに係る事業コンセプト共創

©IQPS・JAXA

<画像圧縮化技術とは>

「イザナギ」の SAR センサから得られる観測データは膨大な量となり、アンテナを通してダウンリンクをする際にも時間と電力がかかりますが、JAXA とアルウェットテクノロジー株式会社が共同開発したオンボード画像化装置を搭載することで、観測後、地上局にデータ伝送するまでの待ち時間に軌道上であらかじめ画像処理を行い、ユーザーへのデータ提供に要する時間を大幅に短縮することが可能となります。

(参考) http://www.jaxa.jp/press/2020/02/20200226-1_j.html

<QPS-SAR 衛星のリスク分析支援>

JAXA が開発した安全・信頼性を向上させる仕組みである「システム視点での軌道上動作保証手法」を用いて、小型 SAR 衛星の設計面及び運用面でのリスク分析、信頼性向上を支援します。

■「JAXA 宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)」とは

J-SPARC (JAXA Space Innovation through Partnership and Co-creation) は、宇宙ビジネスを目指す民間事業者等と JAXA との対話から始まり、事業化に向けた双方のコミットメントを得て、共同で事業コンセプト検討や出口志向の技術開発・実証等を行い、新たな発想の宇宙関連事業の創出を目指す新しい共創型研究開発プログラム。

(参考) <https://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/j-sparc/>

■株式会社 QPS 研究所について

株式会社 QPS 研究所は、九州の地に宇宙産業を根差すことを目指して、2005 年に九州大学名誉教授の八坂哲雄と桜井晃、そして三菱重工業株式会社のロケット開発者の船越国弘により創業されました。九州大学での小型衛星開発の 20 年以上の技術をベースに、国内外で衛星開発やスペースデブリへの取り組みに携わってきたパイオニア的存在である名誉教授陣と若手技術者・実業家が一緒になって幅広い経験と斬新なアイデアをもとに、宇宙技術開発を行っています。また、QPS 研究所の事業は創業者たちが宇宙技術を伝承し、育成してきた約 20 社の九州の地場企業（北部九州宇宙クラスター）に力強く支えられています。

プレス関係の方のお問い合わせ先

株式会社QPS研究所 公式HP: <https://i-qps.net>

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル 5階

担当名: 有吉 Email: y.ariyoshi@i-qps.com